

10月の学級づくり【小学校版】

10月は、実りの秋。過ごしやすい気候となりました。校内での活動が多くなり、落ち着いて学習活動に取り組める時期です。学習にじっくりと取り組み、学力・体力を伸ばし、心を豊かにしていきたいものです。そのための土台となるのが、学級づくりです。



「ありがとう。ぼくうれしかったよ。」 ～感じ合い、つながり合う関係づくり～

Hさんへ

あさ、がっこうへいくときに、Tくんたちが、ぼくのことを「うんこくさい」とか「きもい」とかいったよ。そしたら、「そんなこといっちゃいけないよ。」って、いつてくれたよね。ありがとう。ぼくうれしかったよ。 Sより

昇降口に掲示してある「仲良しの木」。Sさんは、その日一番の“ぼくほくした気持ち”を一枚の葉っぱに綴って、「仲良しの木」に貼り付けたのでした。そして、生活委員会の子どもたちが、そのメッセージを見つけて、お昼の放送で、全校に紹介したのです。放送を聴いたHさんは、顔を真っ赤にしなが、とても嬉しそうにしていました。Sさんは、自分の頬に手を当てて、円らな目を細めていました。SさんとHさんの気持ちが、ぐっつつながり合った瞬間でした。

「仲良しの木」始めてみませんか

歩みを振り返り、 集団の高まりを感じる収穫祭



目の前に広がる豊かな実り・・・充実の秋を十分に感じるとともに、この実りにつながった自分の歩み、仲間の努力、支えてくれた方々への感謝の気持ちを表せる収穫祭にしたいものです。

実行委員会を立ち上げ、自分たちが決め出す

流れるような運営でなくても、自分たちが決め、学級の仲間に考えを伝えながら、みんなでつくり上げた手作りの感謝が込められた会に。

お互いが知恵を出し合い収穫までつなげてきた姿を語り合う場を位置付ける

今までのあゆみや収穫祭の準備で支え合う姿をそっと写真に納めたものや、育ちの過程で発した子どもの言葉をまとめた映像等で振り返りましょう。自分や集団の成長を事実から実感し語り合えるのではないのでしょうか。

先生、いっぱいお客さんが来たね

児童は、人に見られることを嫌がる場合があります。そのため研究授業があることを児童に内緒にしている場合がありますが、どうでしょう？

○ 人に見られていると...

より派手に振る舞う児童がいます。しかし、それも児童のよさが表に出たととらえ、授業に生かしたいものです。

○ 人に見られていると...

じっと固まってしまう児童がいます。しかし、その子の緊張をほぐすことは、クラス全体の緊張をほぐすことに繋がります。

○ 人に見られた後には...

先生が、クラスの児童に「ありがとう」という思いを伝えましょう。授業によってクラス中が成長していることに、児童は気付くはず。研究授業で、児童も先生も伸びます。授業前に伝えて、児童と一緒に授業づくりをしてみても、

支援が必要な子どもの「つまずき」を支援するポイント

～言葉で相手に伝えることが苦手な児童～

「語彙が少ないのでは、と感じる児童」には

カルタなどのゲームを通して、楽しみながら語彙を増やす学習をしてみても、

「文章を書いたり、考えをまとめたりすることが苦手と思われる児童」には

写真や絵カードを用意して、一緒に見ながら、「どこへ行ったのかな」と問いかけ、言葉を引き出すようにしてみても、

「状況や自分の気持ちを表現することが苦手と思われる児童」には

気持ちを表わす言葉を、表情カード等を使って提示し、選択できるようにしてみても、